



(i) NGOと 連携したい ですか？

対等なパートナーとしての
ユースのツールキット



目次

なぜユース向けのガイドなのか.....	3
本書で使用する略語.....	11
重要用語の解説	12
連携前に.....	15
(i)NGOはどんな書類を求めるのか	16
(ii)NGOに何を聞けばいいのか	18
潜在的リスクの予測	21
公正な補償の提唱.....	24
最初に終わりを考える: 持続可能性への配慮.....	26
連携期間中.....	28
相互尊重と傾聴	29
学び合い	30
自身の働き方に忠実であり続ける.....	31
連携後.....	32
謝辞	35

なぜユース向けの ガイドなのか

あなたは、コミュニティ
に変化をもたらしたい
という**熱い思い**を持っ
たユースだろうか？



既存の (i)NGO と
連携し、影響力を増
幅させたいと考えて
いるだろうか？i



そんなときに、
このツールキッ
トを使ってほし
い。



この躍動的で変化し続ける世界において、革新者であり変革者であるユースの力と必要性を過小評価することはできない。

ユースは無限のエネルギーと創造力、そして斬新な視点を持ち、社会、経済、環境課題に革命的な取り組みをすることができる。

だが、(i) NGOとの連携は、複雑で込み入った問題を伴う難しい仕事となりうる。

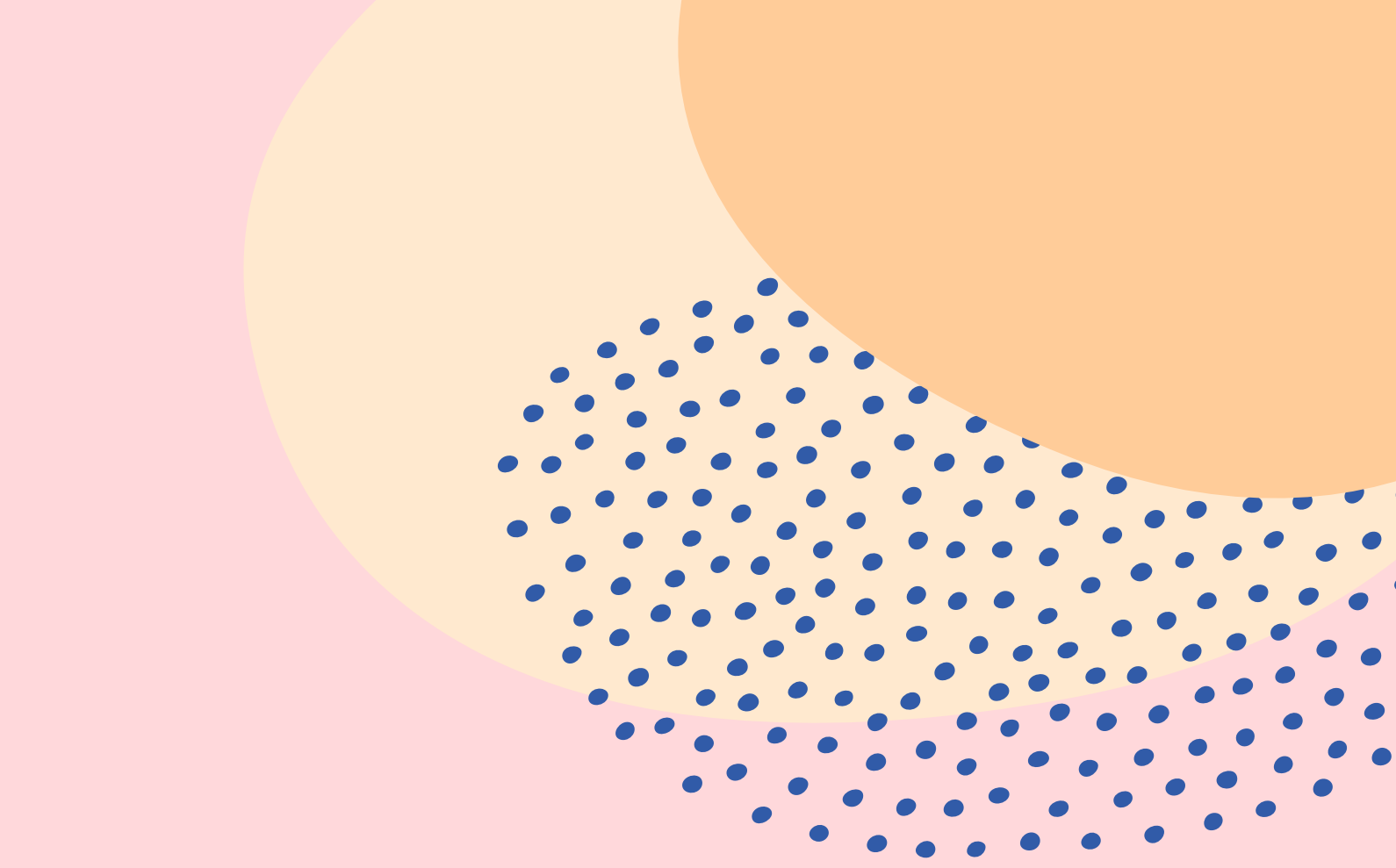
私たちは、このギャップを埋め、若い変革者が(i)NGOとの連携に必要な知識を身につけられるよう、このツールキットを設計した。これは、あなたが自信と明晰さを持って連携の状況を把握するのに役立つツールキットである。

このツールキットは、プラン・インターナショナルが、オランダを拠点とするユース主導の組織「CHOICE for Youth & Sexuality」と共同で、世界中のユースやユース主導の組織(YLO)、そして非営利セクターで豊富な経験を持つプラン・インターナショナルの各国事務所の意見を取り入れて開発された。

対等なパートナー
であるユースの
ツールキットへ
ようこそ！



CHOICE FOR YOUTH & SEXUALITY



(i)NGOはなぜユースと連携したいのか

また、なぜユースは(i)NGOと連携したいのか

(i) NGOがユースやYLOとの連携を積極的に求める理由は数多くある。ユースの専門知識は多岐にわたり、非常に重要だ。同様に、YLOにとっても、(i)NGOと連携することは素晴らしい機会を提供することができる。

(i) NGOとユースは**素晴らしいチーム**になれる。その理由をいくつか挙げる。



ユースは社会問題に**新鮮な視点**をもたらし、上の世代には自明でないかもしれない革新的なアイデアや解決策を示す。彼ら独自の洞察力は、複雑な課題に取り組むための、より効果的な戦略を導き出すことができる。



(i)NGOとの連携は、ユースに技能開発、リーダーシップ訓練、能力開発の**貴重な機会**を提供する。このような経験は、ユースをコミュニティにおける効果的な提唱者やリーダーにする力を与える。



エネルギーと情熱:ユースは多くの場合、前向きな変化を生み出そうとするエネルギー、熱意、情熱に満ちている。このエネルギーは、影響力のあるプロジェクトや活動を推進するために活用することができる。



(i)NGOは、事務所スペースであれ、特定の専門知識を持つ職員であれ、市民社会とのつながりであれ、ユースの活動を支援するために、**幅広い資源**をユースに提供できる。



ユースの参加により、意思決定プロセスにおいて彼らの声、懸念、ニーズが**正確に反映される**ようになる。これは、若い個人の懸念に響かない、あるいは十分に対応できない解決策の策定を避けるのに役立つ。



さまざまな文化、背景、経験を持つ多様なユースが参加することで、**幅広い視点**が考慮され、より包摂的で全体的なアプローチが可能になる。

このツールキット に何を期待でき るか

対等なパートナーであるユースのツールキットは、ユースが効果的な変革の促進剤となるためのツールキットである。

活動の幅を広げようとしているYLOなら、このツールキットが指針となり、影響力のある連携を促進するための貴重な洞察、リソース、専門知識を提供する。

私たちが解決 しようとしてい るギャップ とは何か

大きな組織と連携する際に、厄介なギャップを感じたことはないだろうか。

私たちはそれをよく理解している！だからこのツールキットが開発された。

世界中のあなたのようなユースが変化を求めている！あなたが声を上げれば、私たちはそれに耳を傾ける。世界中のユースが、ユースと (i) NGO の関係を支援するためのよりよい制度を提唱するために、たゆまぬ努力を続けている。

そこで、連携プロセスを自ら経験したユースと協力して、このツールキットを開発した。

本書には、自分らしくありながら、(i) NGO との連携に飛び込むためのヒントを詰め込んだ。

(i)NGOの中にはユースと力を共有したいと考えている組織もあるが、その方法を知らない組織もある。

だが、考えてみよう。

**世界中のあなた
のようなユース
が変化を求めている！**



このガイドはあなたのためにある

もしあなたが



(i)NGOにアプローチしたいと考え、連携を進めるためのガイダンスを探しているYLOだったら。




登録済みまたは未登録のユースグループで、より大きな組織との連携や支援を求めているなら。



もしあなたがYLOとして一般的な資金調達(例えば、ドナーや協力機関など)を探している場合、このガイドは特にあなたのニーズに合ったものではないが、資金調達の際に公平な関係を築くためのヒントや教訓のいくつかを活用することができる。



(i)NGOの方であれば、本書は直接的には関係がないが、あなたの団体のような組織と連携する際に、ユースが直面する多くの課題を集約したものであるため、ご一読いただければ幸いである。このガイドに詳述されている問題を探求することで、あなたとあなたの団体は、ユースにとってより良い、よりパワーを意識したパートナーになるよう努めることができる。

An illustration of a person's arms, rendered in a dark brown color, holding a vibrant rainbow. The rainbow is composed of multiple bands of color: red, orange, yellow, green, cyan, blue, and purple. The person's head is visible at the bottom, smiling. The background is a light, warm yellow.

このガイドは、幅広いYLOを支援するために作成された。

規模、対象、正式・非公式、草の根的起源、最近の発足、リーダーシップや意思決定の方法などにおいて、多種多様な集団に対応している。

あなたが (i)NGO との関わりを模索している確立された団体であろうと、より大きな組織との連携や支援を求めている若い個人による非公式な団体であろうと、このガイドは個々のニーズに合わせて作られている。

本書で使用 する略語



CSO

市民社会組織



CV

履歴書



FTE

フルタイム換算



(i)NGO

(国際)非政府組織



MoU

覚書



ToR

参照条件



YLO

ユース主導の
組織

重要用語の 解説

YLOが (i) NGOのような組織と連携する場合、多くの新しい情報、馴染みのない概念、略語、技術的なプロセスに直面することが多い。

多くの場合、言葉は混乱を招き、複雑な専門用語はプロセスを不明確にする。言葉には人を包含したり排除したりする力があるため、私たちは複雑で理解しにくい言葉の使用による影響への意識を高めるために最善を尽くしている。

そのため私たちは、(i)NGOが専門用語に頼ることなく、プロセスを正確に説明する、より平易な用語を採用することを提唱している。

その一方で、ユースが十分な情報を得た上で連携に臨めるよう、いくつかの重要な概念を説明することでユースの能力を強化したい。







以下は、連携の道に第一歩を踏み出したときに、ユースが初めて知ったり混乱したりした、と私たちに語った用語のいくつかである。

重要用語の解説



用語

定義

 コンセプトノート	計画しているプロジェクトの概要。
 CSO (Civil Society Organization)	CSOは通常、非営利の、時には(必ずしもではない)自発的な市民団体である。
 能力開発/能力強化	組織やコミュニティの技能、直観、能力、プロセス、資源を開発し、強化するプロセス。大人からユースへ提供されることが多いが、ユースから大人へ、あるいはユース同士の間で提供されることもある。
 能力表明/実績/組織の活動履歴	履歴書や職務経歴書のようなものだが、個人ではなく組織のための書類。関連するプロジェクト、調達した資金、実績、あなたの組織の影響などを詳しく説明する。
 適性評価	適性評価とは、組織が他の組織と契約を結ぶ前に、その組織を注意深く調査し確認するプロセスのことである。通常、組織の価値観や原則に合致していることを確認するために用いられる。
 FTE (Full Time Equivalent)	FTEと略されることが多いフルタイム換算は、予算作成時によく使われる用語である。これは、フルタイムの週労働時間を基にした単位で、その人が何時間働くかを示すものだ。例えば、フルタイムの週労働時間が40時間だとすると、1.0FTEで働く人はその100%、つまり40時間働くことになる。0.5FTEであれば、その50%、つまり20時間働くことになる。

重要用語の解説



用語	定義
 ガバナンス	組織や連携を管理するための枠組み。誰が意思決定を行えるのか、誰が組織や連携を代表して行動する権限を持っているのか、そして誰が決定に対して責任を負うのかを明らかにする。
 MoU (Memorandum of Understanding)	連携の条件、連携の形態、両当事者の誓約を明記した基本合意書。
 連携	連携とは、目標と責任を共有する正式な、相互に合意された協力関係において、対等な条件で協力することを意味する。
 リスク	連携関係、組織の構成員、または資源の管理に影響を及ぼすような、内部または外部の状況または事象が発生する可能性。
 リスク許容度	連携や別の連携を含むべき活動で、どれだけのリスクを取るかを定めることを指す。
 安全リスク	これは偶発的に人、物、あるいは評判に危害を及ぼす可能性のある事柄に関するものである。大きな安全上の問題は含まれるが、法的なルールは含まれない。
 セキュリティリスク	これは、暴力や攻撃的な行為のように、意図的に人を傷つける可能性のあるものについてだ。スパイや脅迫のような非暴力的なものも含まれる。
 ToR (Terms of Reference)	契約条件、方法論、予算、定義、プロジェクトの背景など、重要な事項を定義した文書。委託条件書や業務仕様書の事。

連携前に

ユースやYLOがより大きな(i)NGOと連携するプロセスを始めると、多くの手続きや書類作成に遭遇することが多い。

(i)NGOやドナーの義務を遵守するため、あなたの組織に関する特定の情報を共有するよう求められることがある。

例えば、ドナーや (i) NGOは、文書化されていないような広範な実績を求めているかもしれない。

私たちは、ユースがこのプロセスに備えられるようにしたい。そこで、このセクションでは、(i)NGO と連携する際に (i)NGO が求める可能性のある書類や経験の種類をリストにまとめた。

(i)NGOはどんな書類を求めるのか

実績を記録した書類



必要書類

何を意味するのか



組織が管理した
予算の記録

過去にその組織が予算を効果的に管理してきたことを示す資料。

例: 特定の期間における組織の収支を概説した財務報告書または財務諸表。



能力証明書

組織の能力、専門知識、過去のプロジェクトの概要を簡潔にまとめた文書。履歴書や職務経歴書と似ているが、個人ではなく組織のものである。

例: 組織のミッションやビジョン、主な実績、専門知識、提供するサービス、関連するプロジェクトや活動などの情報を記載した文書

人事と方針



必要書類

何を意味するのか

ガバナンス体制 の説明資料

役割と責任を含む、組織のガバナンス体制の概要。

例: オルガノグラム (組織のさまざまな部分がどのように組み合わされているかを視覚化したもの) を作成し、個人の年齢が上がるにつれて組織がどのように移行していくかを説明する資料を用意する。

組織概要資料

ミッション、ビジョン、活動など、組織の概要が記載された文書。

例: 年次報告書、ウェブサイトやオンライン・プロフィール、組織概要 (組織のミッション、ビジョン、目標、主な活動、対象者、地理的範囲などの必須情報を含む) などに記載されている。

組織の地位

組織の法的地位の概要を示す文書。

例: 組織の規約、銀行口座の詳細、登記住所などに情報があある。

行動規範 (倫理規定)

期待される行動、倫理、行動基準を概説した一連の指針や原則。

例: 通常、容認できる行動と容認できない行動を定義し、規範を確立し、前向きで尊重される環境を促進する。

方針

(i)NGOによっては、包摂、ジェンダー、保護方針などについて質問されることもある。

例: 包摂、ジェンダー、保護、および (i)NGO の特性に応じたその他の関連分野に関連する具体的な方針を概説する文書。

(i)NGOに何を聞けば良いのか

強力な連携関係を築くには、双方が等しく疑問やニーズを口にする機会を持つことが重要だ。

(i)NGOが質問ばかりし、ユースは答えるだけだと感じることもあるだろう。しかし、もしユースからも質問をしたらどうだろう。

(i)NGOの価値観や活動方法、ユースへの支援方法などを尋ねることで、連携を深めることができる。それにより、適切かどうかを判断することができる！

そこで、連携とその意味を正しく理解するために、ユースが(i)NGOにできる質問を紹介する。

皆にとって最適かどうかを判断するためには、正しい情報を得ることが重要なのだ！

(i)NGOに質問できること

以前に他のユースグループと連携したことはあるか。その経験はどのようなものだったか。



(i)NGOは、その組織やプロジェクトにおいて、ユースの参加とリーダーシップをどう定義し、推進しているか。



このプロジェクトの資金はどこからか。ドナーは誰か。



どのように両組織の間で合意した予算が適切なタイミングで受け取れるのか。



どの要件が (i)NGO のもので、どの要件がドナーのものなのか。



若いパートナーのための窓口はあるか。



(i)NGO とパートナー組織の間で、特に進捗状況、成果、教訓を共有する上で、どのような報告やコミュニケーションが期待されているか。




(i)NGOがどう意思決定をしているのか教えていただきたい。ユースはどんな形で参加できるのか。



ユース組織に対する組織の管理体制はどうなっているか。





連携において
ユースと有意
義に協働する (i)NGO の取り組み
に関する情報を収集することを目的
とした質問をするのが賢明である。

組織の実績、方針、慣行など、彼らとの協力に直接影響を与える可能性のあることは、臆することなく尋ねること。(i)NGOもあなたを必要としていることを忘れないこと！

潜在的リスクの 予測

大きい (i) NGOとの連携を検討する場合、YLOは発生しうる潜在的なリスクに留意すべきである。

以下は、他のYLOが、大きい(i)NGOと連携する際に直面した潜在的なリスクである。

ユースとしてこれらの挑戦を予期し、リスクを軽減するために、考えられ得る戦略を準備できるよう、いくつかを以下紹介する。



リスク

(i) NGOとデリケートな問題に取り組む

知名度の高い(i)NGOとの関係は、あなたの組織の存在を良い意味で明らかにする可能性があるが、同時に複雑なリスクにもさらされる可能性がある。例えば、ある著名な(i)NGOはLGBTQIA+の問題に公に取り組んでいるが、あなたのYLOが、それが厳しく取り締まられている国に拠点を置いている場合などだ。

リスク軽減策

- どの程度の保護が期待できるかを知るために、どんな保護方針と保護措置がとられているかを (i)NGO に必ず尋ねること。
- 市民スペース縮小の影響を受けている場合、(i)NGOはあなたを支援することで、あなたの市民スペースを支援する用意があるか、それはどんなものか尋ねること。これには、(i)NGO が、あなたが取り組む課題に関する政策に影響を与える政策対話の場への「扉を開く」だけでなく、あなたの市民スペースを守るために政策対話に参加する用意があることも含む。
- パートナーに心理社会的支援や法的助言を提供したり、緊急資金を利用することが可能かどうかを尋ねる。



時間のかかる管理業務

リスク YLOは、実務より財務/管理業務に多くの時間を費やすかもしれない。

リスク軽減策

- 業務計画やプロジェクト計画において、管理業務に特定の時間と予算を割り当てる。
- 少人数の負担を減らすため、チーム内で効率的に仕事量を分配する。
- 仕事量について (i)NGO と話し合い、適正な仕事量について相手も理解するようにする。
- 組織能力開発のために特化した予算を盛り込み、総務や財務を含め、組織能力向上のための時間とリソースを割くことができるようにする。



登録要件と組織構造の変更の可能性

リスク 登録には時間がかかり、YLOの柔軟性も変化する。

リスク軽減策

- あなたの国で登録団体になるための法的要件とその意味を理解することが重要だ。
- 登録がYLOの運営と体制に与える影響を評価する。
- 柔軟な手続きを作り、中核となる価値観とミッションを維持するようにする。



課題移行

リスク (i)NGO/資金提供者の優先事項がYLOのミッションと対立する可能性がある。

リスク軽減策

- 活動内容の幅を広くとり、ビジョンに合った活動を柔軟に行えるようにする。



(i) NGOへのリソース依存

リスク

資金を1つの (i)NGOに頼りすぎると、プロジェクト終了時に資金不足に陥る可能性がある。

リスク軽減策

- 追加助成金、連携、協力を積極的に求め、資金源を多様化する。



価値観と期待の一致

リスク

あなたの組織は、(i) NGOとは異なる国を拠点とし、法的要件と特定の価値観の両方に基づいて、異なる活動方法を持っている場合もある。例えば、祝祭日や労働時間に関する方針が異なる場合がある。

リスク軽減策

- 連携の初期段階から、組織の価値観、目標、期待を明確に伝える。
- (i)NGO とオープンな対話を続ける。
- 合意書や契約書には、各組織の価値観、誓約、仕事の進め方の概要を必ず記載すること。

公正な補償の提唱

大きい (i) NGOがYLOとの連携を望むとき、あなた自身の特別な価値を忘れないこと。

(i)NGOがないと生き残れないように思えるかもしれないが、実は(i)NGOはYLOから多大な恩恵を受けているので、一方通行の関係ではない。YLOと協力しなければ、(i)NGO は資金を得られないかもしれない。

自身の価値を知り、**正当な報酬を得るために、次のことを考えること:**



得意なこと



知っていること



物事の見方の違い

自身の価値を判断し、仕事の量と報酬の額を一致させるための**ヒント**を以下に挙げる。



他と比較する

- 組織の活動を調査し、同分野の類似の取り組みと比較する。
- プログラムのコスト、成果、効果指標を比較し、組織の活動が業界標準とどのように整合しているかを理解する。
- (i)NGOにこんな質問をするはどうだろう？「過去に同規模のプロジェクトで、コストはどれくらいか確認できるか。過去に私たちのようなYLOにどんな補償をしたか。」



予算計画の作成

- プログラムやプロジェクトにコストがどれほどかかるか把握する。
- 人件費、必需品の購入費、その他の費用など、支出をすべて分類する。直接経費(給与やプロジェクト固有の経費など)と間接経費(家賃、事務用品、定期購読料など)があることを忘れないこと。
- 過去にいくら使ったかを調べ、すべてにいくらかかるかを予想すること。組織の能力開発のための予算を含めること。
- ユースの場合、給料が出ないこともあり、プロジェクトが給料全額を支払うとは限らないが、旅費やインターネット接続費などの経費を負担してくれる場合もある。

最初に終わりを 考える： 持続可能性 への配慮

連携の終了は、
**(i)NGOとの協働を
開始する際、通常、
最初に考えることでは
ない。**

しかし、YLOのような小さな
組織にとって、先を読むこと
は重要だ。

YLOにとって、短期的なプロ
ジェクトに関係しないコアで
無制限の資金を得るのは難
しい。

従って、組織、職員、活動の持続可能性と継続性を
確保したいのであれば、連携(および資金提供)の終
了時を先取りして考えることが賢明な行動である。

- ✓ 資金源を多様化し、財政的な持続可能性を考える
こと。
- ✓ YLOが成長し、学び、組織の知識を保持できるよ
う、組織の新旧メンバー間の知識移転を重視する
こと。
- ✓ 継続的な支援のために、**(i)NGO**の連携を超えた
つながりを構築すること。

これで、あなたがもたらしうる価値をよりよく理解し、能力
を評価し、潜在的なリスクを軽減することができる。

これらは、連携を成功させるための強力な土台となる。

必要な書類、適正評価プロセス、初期段階での質問事項
などを理解した上で、あなたの目標や価値観に合った連
携に乗り出すことができるはずだ。

次のセクションでは、"連携の途中で" 起こる
ことについて掘り下げ、相互尊重と傾聴を促
進し、自らの働き方と価値観に忠実であり続
けるための戦略を探る。



おめでとう！



あなたはNGOと連携 を結んだ！

さあ、実際の行動に飛び込んで、一緒に素晴らしいことをする準備をしよう。

連携期間中

連携をうまく構築し、考えを共有し、疑問を解消し、ニーズを明確にしていく。

だが、最善の計画を立てても、困難が生じることもある。時には、(i)NGOのように大きい存在があなたの選択に影響を与え、遅延を誘発するリスクもある。

しかし、心配無用、YLOパートナーの協力を得て、連携中のこの局面を最善の方法で乗り切るための私たちの考えやヒントをまとめた！

相互尊重と傾聴

ユースと大人の連携における相互尊重と傾聴は、健全かつ効果的な協力関係に寄与する不可欠な要素であり、信頼関係を築くために基本となる。ユースの発言力は、その中心的な要素である。だが、ユースが発言できることだけが重要なのではなく、ユースの声に耳を傾け、尊重される必要がある。

(i)NGOとの連携において、ユースの意見に真摯に耳を傾けてもらい、その意見が尊重されるにはどうすればいいのか。

YLOの協力者は、あなたが (i)NGO パートナーに真に耳を傾けてもらえるよう手助けするために提案リストを作成した。

- ✓ **定期的な連携会議**を依頼する: 問題解決、質問、うまくいっていること、改善すべきことについて話し合う。予算のような大きな案件の会議も提案しよう。
- ✓ 話を聞いてもらえず、軽視されていると感じたら、(i)NGOと**話し合い**、自身の価値観や仕事のやり方に立ち返り、最初に合意したことを再認識させること。
- ✓ 連携に関する**フィードバック**や不適切な行動の報告方法について問い合わせる。
- ✓ (i)NGOからの回答を得るまでの**期限**を提案する。

特に力の非対称性を考慮すると、批判的なフィードバックをするのは必ずしも容易ではない。YLOのパートナーが、そのコツを、以下のように教えてくれた。

- ✓ 会話が難しいと決めつけないこと。それは捉え方次第だ
- ✓ 適切な会話の切り出し方、メッセージの伝え方、主張的なコミュニケーション、非言語的なコミュニケーションを意識すること。
- ✓ 時間を適切に使い、会議の前に議題を作り、会話の目的を明確にすること。

学び合い

ユースと大人の健全な連携関係においては、パートナーは知識、スキル、洞察力を共に身につけ共有するプロセスに参加する。多くの場合、ユースは経験が浅いと判断され、能力強化は大人からユースへという流れになりがちだ。しかし私たちは、この力学を逆転させ、学びが双方向に流れるようにする方法を探りたい。

相互学習の場を作るために、YLOとして何ができるだろうか？

以下に、ユースの経験に基づき、学習経験を有意義で、双方向的で、皆にとって有益なものにするための具体的なアイデアを列挙する。

- ✓ (i) NGOからだけでなく、**双方向**の学習戦略を考える。
- ✓ 新しい学習に対応するために、**必要なリソースを要求する**。
- ✓ どのプロセスがYLOの運営に必要で、どのプロセスが (i) **NGO**に必要かを**分析する**。
- ✓ YLOは**学習測定ツール**を作ることができる。

自身の働き方に忠実 であり続ける

YLOやグループは通常、強い価値観によって動かされている。こうした価値観や活動方法に忠実であることは、活動を遂行し、変化を達成するために不可欠である。だが、力の不平等な分配は、(i)NGOの要求を満たすために、ユースがしばしば自身の価値観を妥協せざるを得ないことを意味する。YLOと(i)NGOの間に力の差があることは否めないが、それは必ずしも悪意があるわけではない。ドナーは資金を提供する際、透明性と説明責任を確保したいと考えているため、報告のための体制やプロセスが長年にわたって構築されてきたのである。

では、YLOはいかにして自身の働き方や選好を(i)NGOに明確に伝え、尊重してもらえるのか。

透明性の確保は、資金提供の受け手が多くの報告を求められる理由の重要な部分である。

潜在的には良い意図を持っているが、報告の負担はYLOにとって非常に大きく、排除的なものとなる。

- ✓ **事前に価値観の実践方法を共有すること。** 組織の価値観が日常業務でどのように実践されているか、実践的な例を挙げ、問題や誤解が生じるのを待つのではなく、最初に明確にする。例えばあなたの組織には、職員のメンタルヘルスと幸福を優先するという、価値観があるかもしれない。これは、週末は仕事をしないとか、夕方の一定時間以降は仕事をしないとか、そういった方針を意味するかもしれない。これを(i)NGOに周知させ、時間外の要求をさせないようにすること。あなたの組織は、研修を企画・実施する際に、共同創造や有意義なユースの参加を重視するかもしれない。これには時間がかかるため、十分な準備時間が与えられなければ実施できないことを(i)NGOに伝えておくこと。
- ✓ **断ることを学ぶこと。** 提案の中に、あなたの組織と合わないものがあれば、断ることを常に覚えておくこと。資金提供を断るのは難しいかもしれないが、批判的な目で見て、それが本当にあなたや組織のためになるかどうかを自問すること。資金源とあなたの価値観が一致しない場合、将来的に問題になる可能性がある。
- ✓ **常にコンセプトノートに立ち戻ること。** (i)NGOがあなたの活動範囲や活動方法から外れた要求をしていると感じたら、コンセプトノートや連携協定の原文に立ち戻って、あなたの境界線を再度主張しよう。

連携後

このセクターが年度方式で、複数年の資金援助が得られないこともある。

では、どうすればいいのか。

1

資金調達の多様化

複数の連携を結ぶようにし、ひとつの連携が終了しても組織が困らないようにする。

2

リスト作成を検討する

今後の戦略立案を支援するために、専門知識を持つ人脈のリストを作成する（顧問委員会や信頼できる連絡先リストなど）。こうしたリストは特に、資金調達や持続可能性について考えたり、他の組織とのネットワーク作りに役立てたりする。

常に狙いと目的を持った要望を携えて臨むのが賢明だ。

3

定期的な面談を提案する

パートナーとの関係を維持し、あなたの仕事に関する最新情報を伝え、将来の機会への関心を表明するために、彼らと連絡を取ること。

今後、申請する助成金募集の際に支援してくれるか尋ねる。

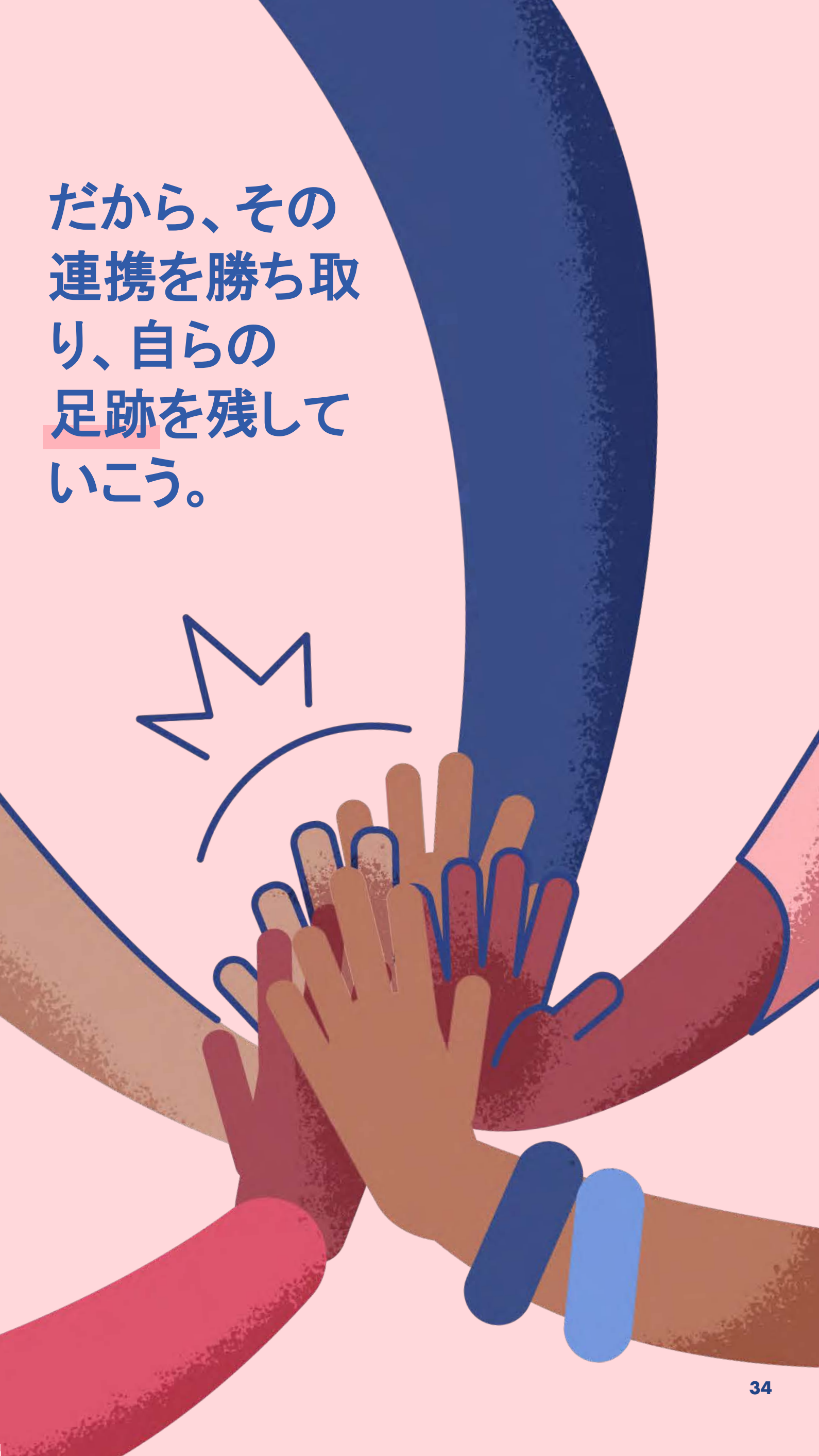


以上がツール キットの内容だ。

このガイドの内容が、(i) NGOとの連携のプロセス全体の混乱を少なくし、自信を持って連携を結ぶために必要な知識を得る一助となれば幸いである。

経験者の知恵を吸収し、課題に取り組み、勝利を祝うことで、YLOはより大きな自信をもって複雑な連携関係を切り開くことができる。

だから、その
連携を勝ち取
り、自らの
足跡を残して
いこう。



謝辞

このツールキットの開発は協力的な努力の賜物であり、その開発に貢献してくれた多くの個人と団体に心から感謝している。



このツールキットの内容は、連携プロセスの両側面を経験した60人超の人びとの経験と意見に基づいており、ユースと (i) NGO双方の経験を結集したものである。



このツールキットは、トーゴ、ウガンダ、ジンバブエ、ナイジェリア、マリ、グアテマラ、ボリビア、エルサルバドル、メキシコ、ドミニカ共和国、オランダのYLOとプラン・インターナショナルの職員が参加したトーゴとドミニカ共和国で実施された、2回の対面式ワークショップで得られたものである。



その内容は、YLOとプラン・インターナショナルの世界各地の職員からの意見によって強化された。



プラン・インターナショナル・トーゴとプラン・インターナショナル・ドミニカ共和国には、対面式ワークショップを開催してくれ、私たちが直接協力できるようにしてくれたことに特別な謝意を表す。

コアメンバー

Nohel MelendezとJenny Shotton
(プラン・インターナショナル)

Jessica SteffensとCarys Stirling
(CHOICE for Youth & Sexuality)

ツールキット貢献者
(対面式ワークショップとオンライン)

Abdoul Baki Labodja	Luisa de La Asunción Jerónimo
Achraf Issaka	Ortiz Lyndee Prieto
Adriana Mondaca Avilés	Makan Sylla
Ana Lilian Lanz Ramírez	Mariam Aldianabangou
Ana Mariela Bernal Hernández	Mario Raúl Serrano Alfaro
Angela Lourdes Pol Suy	Marlyn Martinez
Asuman Nololo Waiswa	Mastula Nakandi
Cathy Seco	Michelle Chikurunhe
Charity Gatsi	Mishka Martin
Confort Ola Ndukwe	Modibo Konate
Corentin Ekon	Mohamed Bagayoko
Danmore Shonhai	Mohamed Tchakala
David Dayao	Nadege Koumongue
Dieter Oropeza	Nohel Meléndez
Dorcas Alicai Drazuru	Osilia Mateo
Elsy Estefania Martínez	Pamela Pérez Ponce
Carranza Emilia Vergara	Samuel Dirug
Esmelin Castillo Brito	Sandra Yamila Abrego
Fatima Mafi	Seif Jira Mali
Gabriela Rodríguez	Shayla Sisa
Helena Twarowski	Sofia Nordenmark
Hugo Andrés Alfredo Terrazas	Tatenda Churu
Murguia Jackelin Stefany Rivas	Timothy Wasenda Oboth
Alvarado Jaqui Lyn Calaranan	Twyla David
Jenny Shotton	Virginia Saiz
Jhordan Wilman Sivila Garnica	Xiomara García
Jonathan Adole Abakpa	Yolande Youga
Jose Miguel Vargas	編集者
Komi Atsu Eklu	Elizabeth Martin-Hernandez
Laura Breton	デザイナー
Lucía Isabel Sierra García	Sara Mena、Doodlio Studio

CHOICE FOR YOUTH & SEXUALITY

CHOICE for Youth & Sexuality
はYLOで、すべてのユースが性・生
殖・恋愛生活について決定する力を
持てるよう努力している。



プラン・インターナショナルは、女の子が本来持つ力を引き出すことで 地域社会に前向きな変化をもたらし、世界が直面している課題の解決に取り組む国際 NGO です。世界 75 カ国以上で活動。世界規模のネットワークと長年の経験に基づく豊富な知見で、弱い立場に置かれがちな女の子が尊重され、自分の人生を主体的に選択することができる 世界の実現に取り組んでいます。